

沖縄県議会議員 山川 典二

会派 * 沖縄・自民党

令和2年3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 6階
電話・098-866-2754 FAX:098-866-2773

詳しくは
会派ホームページへ



一般質問（令和元年6月）

県立病院事業における怠慢経営で90億円の赤字を指摘

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 「医療の崩壊」が始まっているのではと危惧するものだが、各県立病院の経営状況や医療体制の内容並びに北部基幹病院の課題と取り組みについて
- 3 水溶性天然ガス資源活用の現状と今後の取り組みについて
- 4 ジュゴン保護対策事業について
- 5 沖縄県アジア経済戦略構想について



一般質問（令和元年9月）

官製談合疑惑（知事会食問題）をきびしく追求

ISCO中島洋理事長 突然の解任劇の謎！

- 1 本県地下資源、水溶性天然ガスについて
- 2 本県の情報通信関連産業の現状と課題について
- 3 沖縄21世紀ビジョン基本計画の総点検を実施中だが、内容と進捗状況を問う。また、2017年度県施策計画価値達成率51.9%の内

容と見解について

- 4 「稼ぐ力推進プロジェクトチーム」設立の目的と取り組みについて
- 5 「ウチナーンチュ会館（仮称）」建設構想について
- 6 那覇空港の機能拡張整備について

代表質問（令和元年11月）

- 1 米軍基地問題について
- 2 県内社会資本の整備について
- 3 観光振興について
- 4 県内産業の振興について
- 5 子ども子育て支援について
- 6 地域・福祉・医療の充実強化について

■定例会を終えて

水溶性天然ガス資源の活用で、**県も事業化支援の検討する!**と県は答弁し、地場産業発展の可能性が出てきた。米軍普天間飛行場の辺野古移設を巡る県と国との不毛な対立は、一向に改善の余地はない状況が続いている。玉城県政は、打開策のない袋小路に入ったようだ。柔軟な発想の転換が必要だ。又、台風による停電の影響は、県民にとって深刻な問題で、無電柱化の促進や又、渋滞がひどい主要交差点に高架橋を早急に整備し、渋滞解消を強く訴えた。本県観光が、外的要因などに左右されず「数を追う観光から質を追う観光への転換」の構築が必要である。県の**待機児童ゼロの2年先送り**は大問題。子ども貧困・子育て支援など、子供の権利全般を守る為、県政を引き続き追及したい。県は、県立病院の運営改善策を進めている中、**妊産婦分娩費の大幅値上げ**（現行の12万6千円から16万円で27%増）**3万4千円の値上げ**は、若者・子育て世帯の負担増となり県の進める少子化対策に逆行している。補助金現行42万円から50万円に引き上げるよう国や関係機関に要請したい。



令和2年2月定例議会



■質問 又吉 清義
首里城火災、豚熱の発生、中国での新型コロナウイルスの発生による県内観光への影響等、県は危機的状況に直面している。玉城県政は万全な対策と対応が出来たか? 一刻も早い普天間の危険性除去の為に取り組むべき事が、今では議論が噛み合わない。知事の真意を問う。



■質問 西銘 啓史郎
危機管理体制（首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等）について追及すると同時に、観光立県としての課題解決を質し、実現に向けて提言を行う!



■質問 花城 大輔
首里城火災、豚熱、新型コロナウイルス等々々起る異常事態に対して、県の危機管理はどうか? この他にも外部団体の人事問題やMICEの和歌山サンゴの採掘許可申請に対する姿勢など行政としての機能を有しているとは思えない。正常に機能するよう指摘。



■質問 大浜 一郎
次期沖振計へ向けた正念場の年。沖縄関係予算はこれでいいのか? 離島振興は次期振計の重要な柱! その取り組みを問う。



■質問 山川 典二
我が国初の沖縄県警国境離島警備隊創設の目的と内容、沖縄県の地震、津波など防災対策。大幅に遅れている消防防災ヘリコプター導入事業。那覇空港第2滑走路の活用策。薬学部設置の可能性などについて質問する。



■質問 中川 京貴
沖縄県の最大の振興策は、教育と人材育成、観光振興である。県内社会資本整備や次期沖振計策定について問う。



■質問 座波 一
首里城火災の責任問題、万国津梁会議業務に関する疑惑問題と職員倫理のあり方を追及し、MICE施設整備事業で派生した和解金問題を追及する。



■質問 仲田 弘毅
沖縄のシンボルである首里城の復元再建のあり方と予算に関する国の調整をどうするか問う。また国内外に向けて的確な対応策が求められている「新型コロナウイルス」や「豚熱」等の対応策について、医療行政と農林水産行政の姿勢を問いたい。

